

令和2年度第4回政策会議概要

- 1 開催日時：令和2年8月21日（金）9：15～9：20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●福永戦略企画部長（資料1に基づき説明）

今回は6月1日、16日、7月1日、16日及び8月3日に県Webで公表した県民の声で、対応件数は121件あった。これらの声は4月、5月、6月にいただいたもので、コロナに関する意見が121件のうち83件で多数を占めている。休業補償や学校の再開、感染者に対する誹謗中傷などに関する意見が多くなっている。

職員に対する意見・苦情が目立っており、職員の服装、勤務についての意見、苦情では、県職員が在宅勤務をしていない、もっと出勤人数を絞るべき、マスクをしていない職員が多い、といった意見が多い。職員の行動、マナーについての意見、苦情では、県職員が飲食店で感染対策もせずに飲んだり食べたりしている、といった意見があった。県民の皆さんの不安も高くなっており、県職員に対して厳しい目が注がれる状況でもある。各部局においては、こうした声の内容を部内会議で今一度共有いただき、適切に対応していただくようお願いする。

☆鈴木知事

今、県民の皆さんがどういう心理状態で、どういうことを気にして不安に思っているのかを敏感に感じ、日々の立ち振る舞いに落とし込んでいく、そういう県職員でなければ「県民と共に」とは言えない。未曾有の感染症の時期だからこそ、あらためて県民の皆さんに寄り添い共に歩んでいく、県民の皆さんの気持ちを受け止めた立ち振る舞いを、各部局でも徹底してほしい。直近、教育委員会において、県民の皆さんの信頼を損ねる事案が出ている。教育委員会は重く受け止め、信頼回復と再発防止に全力を挙げてほしい。全部局においても、あらためて、他人事ではなく当事者意識を持って対応に当たってほしい。また、コロナ禍の状況の中で、どうやってコミュニケーションをとって職員が安心して働けるようにするかも含め、今一度、今までと同じような延長線上ではない勤務環境づくり、サービス管理を徹底してほしい。基本的には、県民の皆さんからの信頼を損ねないようにしっかりと業務に当たる、ということをお大前提にお願いしたい。

以上